

町の無料相談

相談種類		日にち	時間	相談場所	申込み・問合せ
法律相談	弁護士	5/13(火)、5/26(月) 6/10(火)、6/23(月)	13:30～16:00	役場会議室	役場総務課☎④313（要予約）
	行政書士	5/21(水)、6/18(水)	10:00～15:00	役場会議室	役場総務課☎④313
人権・行政相談		5/8(木)、 6/5(木)、6/12(木)	13:30～16:00	役場会議室	役場総務課☎④313
成人健康相談		6/2(月)	10:00～11:00	役場1階町民ホール	保健センター☎294－5511
		7/1(火)	10:00～11:00	保健センター	
電話健康相談		平日	9:00～17:00	保健センター☎294－5511	
子育て相談		平日 ※オンライン相談あり	10:00～15:00	子育て支援センター (必要に応じて変更可能)	こども家庭センター☎294－1800
育児ほっと相談室		5/21(水)、6/11(水)	10:00～11:00	子育て支援センター もろっこ(元子育て支援室)	
もの忘れ相談会		毎月第3木曜日	10:00～12:00	中央公民館	地域包括支援センター ☎295－2112④126
教育相談		平日	10:00～16:30	教育センター☎295－2525（電話相談可）	
心配ごと相談		平日	8:30～17:00	社会福祉協議会（毛呂山町川角303-3）☎295－0601	
消費生活相談		毎週月・火曜日	10:00～15:00 ※最終受付 14:40まで	役場相談室	役場産業振興課
生活困窮者自立相談 ※生活保護受給者以外		平日	8:30～17:00	アスポート相談支援センター埼玉西部毛呂山出張所 (社会福祉協議会内) ☎080－2274－1445	

四季折々の美しい自然が、訪れる人びとの心を和ませる鎌北湖。へらぶな釣りも楽しめ、奥武蔵自然歩道の入口にもなっているため、年間を通じて多くの釣り客やハイカーが訪れています。

鎌北湖は農業用の貯水池として造成された人造湖で、正式名称は「山根貯水池」といいます。昭和初期、山根・毛呂・川角村と大家・入西村（現在の坂戸市内）にわたる水田は、土地の栄養分は比較的豊富でしたが、常に用水が不足し、干害に悩まされ、思ったような収穫ができませんでした。

そこで、関係村長有志が埼玉県へ救済を嘆願したところ、水源である大谷木川をせき止め、一大溜池を造成し、農業用水を改良する計画が立てられたのです。これが実現すれば、将来永遠に水飢饉から救われ、用水争奪の紛争を根絶するとまで言われました。工事は、昭和4年から始まり、今からちょうど90年前の昭和10年（1935）に完成しました。鎌北湖のような大規模な溜池は、埼玉県で初めての試みだったため工事は難航したよう

です。工事には延べ11万3761人が携わり、不況にあえぐ農村の雇用対策にもなりました。

山根貯水池はその後、昭和27年（1952）頃に「鎌北湖」と命名されました。鎌北湖の入口には、白樺派の文豪武者小路実篤が書いた「鎌北湖」の銘板が設置されています。昭和14年（1939）、武者小路実篤は大字葛貫に「新しき村」を開村してより毛呂山町とは縁が深く、町の人たちから頼まれて、さまざまな作品を提供していました。この銘板もその一つだったのでしょう。

昭和30年代になるとハイキングがブームになり、鎌北湖も観光地として注目を集めるようになりました。鎌北湖の斜面にバンガローを建て、キャンプ地とし、東武鉄道が主体となって観光客を呼んだ時期もありました。東武鉄道は池袋駅から東毛呂駅まで、直通電車「特急かまきた号」を昭和34年（1959）から日曜と祝日のみ運行し、東京から短時間で行ける観光地として売り込んでいたのです。

毛呂山町も「湖水祭り」と称し、昭和51年（1976）7月に花火大会を開催しています。湖上でのしかけ花火なども盛大に行い、多くの人でにぎわったことを憶えている人も多いのではないでしょう

うか。90周年の節目を迎えた鎌北湖をぜひ訪れてみてください。



昭和30年代の鎌北湖の絵葉書
湖畔にバンガローが写っています

歴史散歩！

第371回

90周年を迎える「鎌北湖」